よろこびを地域・保護者とともに紡ぎ、織りなす加美小学校



令和5年5月8日 加美小学校だより 発行 校長 梶並裕子

今年度から子どもたちが企画・運営する 「フレンドリー集会」第一回が開催





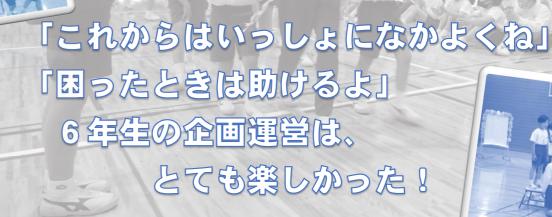
いの学校だった。一

第1回の内容

「明るい学校・暗い学校」 ―チャイムが鳴り、子ども たちが入ってくる。明る い学校と暗い学校ってど こがちがうか話し合って

そこへ、「学校博士」が 登場。だれも自分を知ら ないことにショックを受 けつつ紙芝居プレゼンで 説明してくれる。

それでは加美小ではど うだろうと加美小動画が 流れるとそこは、あいさ つもさわやかで、男女が 仲良く遊ぶ明るさいっぱ



五月晴れ!5月2日 (火) 念願の春の遠足復活!!

5月2日(火) 1年生を迎える会が行われました。6年生が企画運営し 当日は、てきぱきと先生達を頼らず進行しました。5年生が入場のアーチをもってお出迎えしました。 1年生ひとりひとりが大きな声で自己紹介をしたり、学校クイズをしたり、久しぶりのじゃんけん列車を して、楽しいひとときになりました。「困ったときは助けます」と温かい声に1年生も嬉しそうでした。

ドリー集会」が行われました。この集会は、子どもたちの企画運営と表現の場にもなってい ます。第1回は、6年生女子3名の企画に3名の男子の友情出演で、「加美小学校を明るい学 校にしよう」と呼びかけました。シナリオもタブレットで作り、プレゼンソフトや動画撮影 を駆使し、練習でも自分たちで演出まで手がけ、効果音を入れたりしながら表現力豊かに呼 びかけました。たった1週間で準備をし、笑いもとる大人顔負けのパフォーマンスに、先生 司会係の6年生も工夫をこらして楽しい会を演出。その後5年生が、「6年生みたいにでき

4月25日(火)本校が行っている「ともだちの日」にあわせて今年から始まる「フレン

タブレットを駆使し、演出まで!これには仰天!

るようになりたい」と全体の前で感想を言うと、次々の学年から同じ声があがりました。

新型コロナ対策が今日から変わり、インフルエンザと同じ5類になりました。 これまでのご協力心より感謝申し上げます。

5月8日より、新型コロナウィルス感染対策は、インフ ルエンザと同じ5類の対策になります。

これまで、厳しい予防対策にご協力いただきましたこと 心より感謝申し上げます。また、子どもたちも人権を守りな がら本当によく協力してくれました。朝、放送にて子どもた ちにも感謝を伝えました。

しかしながら、今後も状況に注意を払いながら、気を 緩めることなく子どもたちの健康管理をしてまいります。

ありがとうこざいました!





5月2日(火)1年生を迎える会の後、春の遠足がありました。

加美小学校では、コロナ禍以前には、縦割り班で中央運動公園まで歩いていく遠足を長 く続けていました。コロナ禍では、遠足が中止になったり、行き先を変更したりしていたので、 本当に久々の中央運動公園への遠足となりました。

ボランティアの皆様!お世話になりました!

加美小学校前の陸橋のところから西の道に入り、住宅のある安全な道を抜けて運動公 園まで行きます。 途中には、各学年で考えたゲームをボランティアの皆様が楽しく実施して くださいました。暖かい日だったので、たくさん歩くのは大変でしたが、高学年がしっかりと低 学年の手をつないだり、声をかけたりと励ましながら、無事運動公園につきました。楽しみに していたお弁当を食べたり、新しい遊具で遊んだりみんな元気いっぱい過ごしました。